

# TDU *Agora*



特集

## 大東文化大学との包括的連携に関する協定を締結

～交流や研究を通じて両大学の発展へ～ ..... 1

### CONTENTS

今月の顔 橋本学 特別専任教授 (理工学研究科 建築・都市環境学専攻) .....	2	News .....	4
キャンパスよもやま情報 .....	3	Information .....	7



11月18日サンフランシスコ州立大Alexander Chang氏来校

特集

# 大東文化大学との包括的連携に関する協定を締結

～交流や研究を通じて両大学の発展へ～



2022年12月7日、本学と大東文化大学は教育・研究等に関する包括的連携協定を締結しました。これは、両大学の学生・教職員の交流等を通じて、教育・研究等に関して相互に連携協力し、両大学の発展に資することを目的としています。締結式は大東文化大学東京板橋キャンパスで執り行われました。

本学埼玉鳩山キャンパスと大東文化大学埼玉東松山キャンパスは、東武東上線高坂駅を共に利用する最寄りの関係にあります。この度、文理融合・文理横断型の教育・研究のプロジェクトの検討や地域・社会貢献のための共同事業の模索等を視野に入れた連携協力体制の構築を協議するため、その前段階として全学的な連携協定を締結する運びとなりました。

締結式では、新里孝一常務理事・学務局長（大東文化大学）による協定の概要説明のあと、内藤二郎学長、射場本忠彦学長より協定締結に対する挨拶がありました。

これまで埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校として連携してきましたが、本協定締結を契機に、共同研究を始めとして、両大学の学生や教職員の交流機会を増やし、従来以上の連携体制を構築し更なる発展に繋げていきます。



東京電機大学 と 大東文化大学 との  
教育・研究等に関する連携協定締結式



# 「定説」を疑え

## ～地震研究40年の教訓～

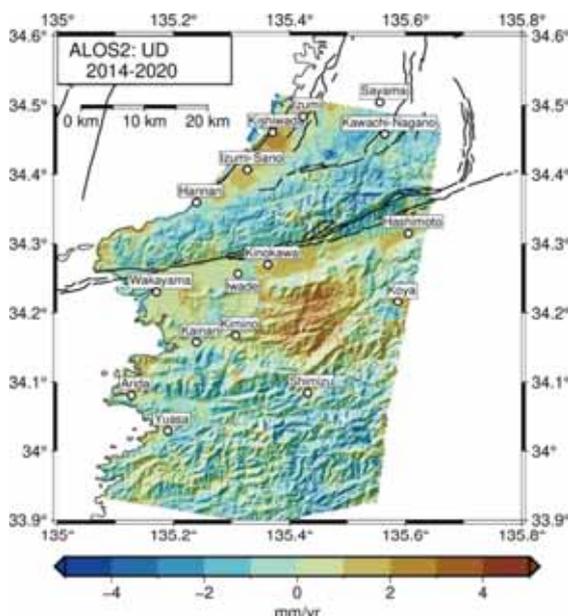


理工学研究科  
建築・都市環境学専攻  
**橋本 学 特別専任教授**

1984年 京都大学大学院修了。博士(理学)。  
同年 建設省国土地理院入省、1997年 京都大学  
防災研究所助教授、2001年 同教授を経て、  
2022年より現職。

### 六甲山の不思議

私は国土地理院・京都大学で約40年間にわたり地震の研究をしてきました。この間、多くの「定説」が覆る経験をしました。例えば、神戸の北にそびえる標高931mの六甲山は、六甲断層帯の100万年間の活動により隆起した、と教わりました。ところが、阪神・淡路大震災では六甲山は12cmしか高くなっていません。地震が1000年に1回程度で起きてきたとすると、 $12\text{cm} \times 1000\text{回} = 120\text{m}$ しか隆起しません。一方、紀伊半島には、大した地震もないのに隆起しているところが見つかっています。同じように地震後20年の間にゆっくりと六甲山も隆起しているかもしれないと考え、GPSで高さを測りました。けれども、全く変化はありません。じゃ、どうして六甲山は高くなったのでしょうか？もっと頻繁に断層が動くのかもしれませんが。あるいは1995年とは違う断層が動くことも考えられます。



「だいち2号」で見つけた紀伊半島の隆起域(茶色い部分)



六甲山最高峰でのGPS観測

### 東北沖地震

2004年のスマトラ地震や2011年の東北沖地震は、「沈み込むプレートの年代が古いいためM9級の地震が起きない」とされていた地域で発生しました。また、東北沖地震前には太平洋沿岸は沈降していました。地震で隆起すると予想していましたが、地震でさらに沈降しました。これでは日本列島が沈没する、と心配しましたが、1年ほど経って隆起に転じ、今も続いています。何が起きているのか、謎は深まるばかりです。

### 「定説」とは？

近代的な科学が日本に入ってきてから150年が経過し、この間多くの成果が挙げられました。しかし、地球の営みに比べればほんのわずかの時間にすぎません。実は「定説」とされるものの多くは、小さな成功体験をもって、全てわかったと思い込んだ結果です。若い皆さんには、常に「定説」を疑いその根拠を考えることを勧めます。多くは科学的な根拠がないものかもしれませんが。それらを捨て去り、新しい概念を打ち立てることで、科学は進歩してきました。皆さんがこの活動の次の担い手となることを期待しています。



東日本大震災で沈降した女川港の岸壁(2012年3月10日撮影)

東京千住キャンパス

### 学生向けアントレプレナークラブ



12月7日に学生向けアントレプレナークラブ(講座)を開催しました。数々のスタートアップに携わってきた、TOKYO町工場HUB代表の古川拓氏を講師にお招きし、「起業/企業家の精神」について講義していただきました。

すでに具体的に起業を考えている学生や経験を積んでから考える学生など、起業に対しての様々な思いを持った学生が参加し「より起業に対して前向きになれた」、「将来の可能性が広がった」などの声があり、とても刺激のある講座となりました。

(研究推進社会連携センター 増田)

埼玉鳩山キャンパス

### 大学院進学セミナー



年の瀬も近づく12月21日、理工学研究科ランチタイムセミナーを開催しました。大学院って聞いたことはあるけど詳しくは知らないという学部生に向けて、セミナーでは大学院のいろいろな専攻の大学院生達に研究の面白さや普段の日常の過ごし方、学会出張などのイベントを紹介してもらいました。

参加した学部生達からは、進学を考えたいきっかけや研究の面白さなどの質問が出て、大学院とはどんなところなのか興味を持つきっかけになったのではないのでしょうか。(建築・都市環境学系 縫村)

### 東京小金井キャンパス 高大連携教育イベント「第1回 ようこそ先輩」

12月10日、中高では学長室にご協力いただき「第1回 ようこそ先輩」を開催しました。電高を卒業し、大学院で研究している榎原大貴さん(工学研究科電気電子工学専攻 修士課程1年生)と廣川真理子さん(未来科学研究科建築学専攻 修士課程2年生)が、研究の内容や、やりがいを後輩たちに語ってくれました。

これまでの経験の中で自分が大切にしていることを研究に生かすConnecting the dotsの姿は、まさに「技術は人なり」を感じさせるものでした。(高等学校 教頭 今福)



## 校友会だより

### オンライン支部長懇談会の開催

11月26日に、Zoomを活用した「オンライン支部長懇談会」を開催しました。昨年に引き続き今回で2回目の開催となります。

今回は、支部間の交流促進を目的として制定した「支部連絡協議会規則」をテーマとして、全体説明会やグループディスカッションを開催し、活発な意見交換がなされました。

近年は、地方出身の卒業生の減少と、支部会員の高齢化による地方支部の規模縮小が課題となっています。オンライン支部長懇談会ではこのような支部の悩みについて意見交換を行い、地方支部のユニークな取り組みなどについて意見を聴取して、アイデアの共有を進めています。

今後も校友会では、コロナ禍で縮小気味の校友会活動を活性化すべく、さまざまな場面でZoomを活用したいと考えています。



受賞  
情報

## 顕著な活躍をした電大人を紹介します。

## 教員

**横山智紀教授** 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科  
NE パワー・エレクトロニクス・アワード 2022 「読者賞」

**佐藤康之助教** 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科  
Asian Journal of Control 「Outstanding Reviewers of 2021」

**加藤政一教授** 工学部 電気電子工学科  
計測自動制御学会 「2022 年度学会賞（論文賞・武田賞）」

**日高邦彦特別専任教授** 工学研究科 電気電子工学専攻  
電気学会 「第 78 回電気学術振興賞 論文賞」

**渡邊翔一郎助教** 工学部 電気電子工学科  
電気学会 「第 78 回電気学術振興賞 論文賞」

**和田成夫教授** 工学部 電子システム工学科  
足立区制 90 周年記念特別表彰 自治功労

**南斉俊佑助教** 工学部 先端機械工学科  
JSST 2022 「Research Award」

**川瀬利弘准教授** 工学部 情報通信工学科  
計測自動制御学会 産業応用部門 「奨励賞」

**古屋治教授** 理工学部 機械工学系  
令和 4 年度 高圧ガス保安協会会長表彰 保安功績者

**安田進名誉教授**（総合研究所 客員教授 / 元 理工学部教授）

**島田政信教授**（理工学部 建築・都市環境学系）

**石川敬祐准教授**（理工学部 建築・都市環境学系）

2021 年度 日本地震工学会 「論文賞」

**花元宏城准教授** 理工学部 共通教育群

2022 年度 大学英語教育学会褒賞（JACET 褒賞）優秀賞

## 博士

**鈴木志歩さん**（博士 2 年）先端科学技術研究科 先端技術創成専攻  
第 60 回日本生体医工学会大会 「令和 3 年度研究奨励賞・阿部賞」

## 修士

**河西孝明さん**（修士 2 年）システムデザイン工学研究科 情報システム工学専攻  
ICETC2022 「Student Presentation Award」

**熊野正恭さん**（修士 2 年）システムデザイン工学研究科 情報システム工学専攻  
2022 年電気学会 電子・情報・システム部門大会 「優秀ポスター賞」

**金崎虎ノ介さん**（修士 2 年）システムデザイン工学研究科 デザイン工学専攻  
GNWS 2022 「ベストプレゼンテーション賞」

**大真真央さん**（修士 2 年）システムデザイン工学研究科 デザイン工学専攻  
2022 年電気学会 電子・情報・システム部門大会 「優秀ポスター賞」

**大山美桜さん**（修士 1 年）システムデザイン工学研究科 デザイン工学専攻  
2022 年電気学会 電子・情報・システム部門大会 「優秀ポスター賞」

**大村一櫻さん**（修士 1 年）未来科学部 電気電子工学専攻  
電気設備学会 「全国大会優秀発表賞」

**稲葉健介さん**（修士 2 年）工学研究科 物質工学専攻  
プラズマ分光分析研究会 2022 筑波セミナーアフタースーンセミナー  
「優秀発表賞」

**大井一樹さん**（修士 2 年）工学研究科 先端機械工学専攻  
精密工学会 2022 年度 北海道支部 学術講演会  
「優秀プレゼンテーション賞」

**古澤魁さん**（修士 1 年）工学研究科 電気電子工学専攻  
2022 年電気学会 電子・情報・システム部門大会 「優秀ポスター賞」

**川嶋彩芽さん**（修士 1 年）工学研究科 物質工学専攻  
2022 年度 日本ソノケミストリー学会 「特別賞」

**小出拓也さん**（修士 1 年）工学研究科 機械工学専攻  
令和 4 年度前期 「技能検定優秀者表彰」

**上橋秀平さん**（修士 1 年）工学研究科 機械工学専攻  
LIFE2022 「若手プレゼンテーション賞」

**中村友哉さん**（修士 1 年）工学研究科 機械工学専攻  
LIFE2022 「若手プレゼンテーション賞」

**牛山和輝さん**（修士 1 年）工学研究科 先端機械工学専攻  
第 38 回日本義肢装具学会学術大会 「最優秀学生演題賞」

**新井太貴さん**（修士 1 年）工学研究科 情報通信工学専攻  
日本材料科学会 2022 年度学術講演大会 「若手奨励賞（ポスター発表部門）」

**高木泉希さん**（修士 1 年）工学研究科 情報通信工学専攻  
デジタル・フォレンジック研究会 2022 年度優秀若手研究者表彰 「優秀賞」

**西村真輝さん**（2022 年 3 月修了）理工学研究科 機械工学専攻  
日本機械学会 「若手優秀講演フェロー賞」

**吹金原榛耶さん**（修士 2 年）理工学研究科 情報学専攻  
川越市制 100 周年記念 ビジネスアイデアコンテスト 「最優秀賞」  
2022 年度 「グッドデザイン賞」

**島田勇輝さん**（修士 1 年）理工学研究科 生命理工学専攻  
第 70 回レオロジー討論会 「優秀ポスター発表賞」

**坂田敦海さん**（修士 1 年）理工学研究科 情報学専攻  
情報処理学会 EC2022 「グッドプレゼンテーション賞」

**中西裕崇さん**（修士 1 年）理工学研究科 情報学専攻  
情報処理学会 EC2022 「グッドプレゼンテーション賞」

**田村佳大さん**（修士 1 年）理工学研究科 電子工学専攻  
第 38 回日本義肢装具学会学術大会 「ファイナリスト賞」

(受賞日順)

※所属・学年は受賞時

受賞  
情報

## 顕著な活躍をした電大人を紹介します。

## 学部

**鈴木奈央さん** (2022年3月卒業) システムデザイン工学部 デザイン工学科  
人工知能学会 研究会優秀賞

**テロウさん** (4年) 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科  
国際留学生協会主催 留学生川柳 2022 「佳作」

**阿瀬駿佑さん** (4年) 工学部 電気電子工学科  
電気学会東京支部第12回学生研究発表会 「優秀発表賞」

**齋藤大雅さん** (4年) 工学部 電気電子工学科  
電気学会東京支部第12回学生研究発表会 「優秀発表賞」

**藤田一輝さん** (4年) 工学部 電気電子工学科  
電気学会東京支部第12回学生研究発表会 「優秀発表賞」

**馬場悠弥さん** (4年) 工学部 電気電子工学科  
電気学会東京支部第12回学生研究発表会 「優秀発表賞」

**菅野樹希さん** (4年) 工学部 電子システム工学科  
電気学会東京支部 第12回学生研究発表会 「優秀発表賞」

**関愛子さん** (4年) 工学部 機械工学科  
第292回材料試験技術シンポジウム若手研究者講演会 「優秀発表賞」

**植松拳矢さん** (4年) 工学部 情報通信工学科  
脆弱性発見 「脆弱性番号 CVE-2022-2443」

**上岡大和さん** (4年) 工学部 情報通信工学科  
脆弱性発見 「脆弱性番号 CVE-2022-2864」

**菊地優太さん** (4年) 工学部 情報通信工学科  
脆弱性発見 「脆弱性番号 CVE-2022-2518」

**坂田翔さん** (4年) 工学部 情報通信工学科  
脆弱性発見 「脆弱性番号 CVE-2022-2435」

**砂山昌輝さん** (4年) 工学部 情報通信工学科  
脆弱性発見 「脆弱性番号 CVE-2022-2039」

**瀧澤隼さん** (4年) 工学部 情報通信工学科  
脆弱性発見 「脆弱性番号 CVE-2022-2540、CVE-2022-2541、  
CVE-2022-2542」

**茂木健さん** (4年) 工学部 情報通信工学科  
脆弱性発見 「脆弱性番号 CVE-2022-2233」

## 団体

**チーム MIYABI、チーム DSML-TDU**  
IROS2022 Dialogue Robot Competition 2022 「Honorable Mention Award」

**東京千住キャンパス 自動制御研究部**  
第27回かわさきロボット競技大会 「ベスト12、敢闘賞、MonotaRO賞、ほか」

**東京千住キャンパス エネルギー研究部**  
2022 Ene-1 MOTEGI GP 「KV-Moto Div1 総合9位」、「大学・高専・専門学校クラス3位」

**理工学部 TDU Space Project**  
ARLISS 2022 「Accuracy Award 2位」、「Technical System Award 1位」

**理工学部 自動車部**  
Honda エコマイレッジチャレンジ2022 全国大会 「グループIII 14位」、「二輪クラス12位」

(受賞日順)  
※所属・学年は受賞時

アメリカ西海岸の3大学と新たに  
学術協定を締結

## 国際センター

アメリカ西海岸にある3大学と新たに学術協定を締結しました。オレゴン州ポートランド州立大学、カリフォルニア州サンフランシスコ州立大学、ワシントン州セントラルワシントン大学の3校です。アメリカの大学の中でも比較的学費が安価な州立大学で、治安もよく、本学学生にとって生活しやすい地域にあります。今後も本学のグローバル化をさらに推進するため、学術交流や海外の大学へ留学する学生が増えることを期待しています。



12月16日セントラルワシントン大学 Mathew Britschgi 氏来校

## ピックアップ! 出版局



★出版局より、新刊の紹介や話題の本、イベントなどのホットな情報を掲載！

2022年12月の新刊は1点となります。



### アカウントビリティを取り戻すーアメリカにおける教師教育改革

マリリン・コ克蘭=スミス他 著  
木場裕紀(未来科学部 人間科学系 准教授) 訳・櫻井直輝 訳  
A5判・340頁 定価7,040円

多くの賞を受賞した原著の待望の邦訳版。教師教育のあるべき姿について積極的に提案！

<ピックアップ! 重版本> 読者の要望に応えるため、重版が決定した書籍を3点ご紹介！



### よくわかる情報通信ネットワーク

山内雪路 著 A5判・152頁 定価2,310円

ネットワークの基礎知識を収録。学部生レベルに合わせた内容。各章末に「調査課題」を収録し、理解を深めることを意図とした。



### 学生のためのExcel VBA 第2版

若山芳三郎 著 B5判・144頁 定価2,200円

日常のデータ処理において、必要度の高い項目を精選して収録し、マクロから基本的なプログラミング、ユーザーフォームの作成まで、例題演習形式で解説。



### フレッシュマンセミナーテキスト 第2版

初年次教育テキスト編集委員会 編 B5判・184頁 定価2,310円(定価改定予定)

待望の第2版。内容を充実させて改訂。新入生が有意義な大学生活を送るために、生活と学習両面からのステップアップを図るためのテキスト。

★出版局ではメールマガジンを配信しております。ご希望の方は、下記URLよりご登録ください！  
<https://web.tdupress.jp/mailmagazine/>



## 偉人の履歴書 vol.4

数学の王様と称えられた偉大な数学者

### カール・フリードリヒ・ガウス

Carl Friedrich Gauss

●1777-1855

「私は全力を傾けて  
その真理が依拠している  
諸原理を洞察し、  
厳密な証明を獲得すべく  
考察を重ねた」

- 1777年 ドイツ・プロイセンの貧しい家庭に生まれるが、幼い頃から天才ぶりを発揮する。
- 1795年 ブラウンシュバイク公爵の援助のもと、ゲッティンゲン大学で学ぶ。
- 1801年 最小二乗法を用いて準惑星セレスの軌道計算を行い、惑星が発見される。  
同年、ガウス最大の業績と言われる「整数論」を発表。ゲッティンゲン大学で、物理学教授ヴィルヘルム・ハーバーと一緒に研究を行い電磁気の絶対単位系を導入。そのほか天文学、測地学など他分野にわたり多くの業績を残す。
- 1807年 ゲッティンゲン大学の天文台長兼数学教授となる。
- 1809年 『天体運行論』を出版。
- 1855年 78歳で逝去。

東京電機大学編『偉人たちの挑戦1』東京電機大学出版局、2022年、p43。 イラスト:宮島幸次

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

落ち葉掃く規則正しきレンガ路  
庭芝の程よく枯れて秋深し  
帰り花上野戦争惚びけり

明(井川明)

陽一(阿部陽一)

七美男(松田七美男)

# Information

東京電機大学 未来科学部イブニングセミナー

## 「利休の茶室は日本的空間か？－日本の木造住宅の特質－」

講師:建築家 深尾精一氏

～ 2月16日(木) 18:30より 足立区生涯学習センターにて(定員100名/無料)～

足立区生涯学習センターにて、建築家の深尾精一氏を講師に迎え、未来科学部イブニングセミナーを開催します。未来科学部では「プロの能力、豊かな教養」を育む教育の一環として「イブニングセミナー」を定期的に開催し、各界の著名な専門家を招いて、最新技術や世界的な研究動向等について講演いただいています。

千利休の茶室は典型的な日本的空間といわれます。しかし、国際色豊かな安土桃山時代に生み出された建築空間である利休の茶室が果たして日本的なのか。そもそも日本の空間はどのようなものか。本セミナーでは、このテーマについて深尾氏の解説のもと、参加者の皆さんと一緒に考えます。



深尾精一氏

日 時	2023年2月16日(木) 18:30～20:00
会 場	足立区生涯学習センター 4階講堂
演 題	利休の茶室は日本的空間か？－日本の木造住宅の特質－
講 師	深尾精一氏(建築家/首都大学東京 名誉教授)
対 象	16歳以上の方
定 員	100名
参 加	無料(先着順、定員になり次第、受け付け終了)
主 催	東京電機大学 未来科学部

- お申し込み方法 足立区生涯学習センターにて電話、インターネットまたは直接窓口まで  
電話:03-5813-3730  
URL:<https://www.adachi-shogakucenter.net/lecture/>
- お問い合わせ先 東京電機大学 未来科学部 建築学科 地域・建築デザイン研究室  
E-mail:d.sugawara@mail.dendai.ac.jp

講 師	深尾精一(ふかお せいいち)氏 首都大学東京 名誉教授 国土交通省社会資本整備審議会建築分科会会長
略 歴	1971年 東京大学工学部建築学科卒業 1976年 東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻博士課程修了(工学博士) 1976年 早川正夫建築設計事務所所員 1995年 東京都立大学工学部建築学科教授 2005年 首都大学東京都市環境学部教授(大学改組による) 2013年 首都大学東京 定年退職 名誉教授
主な作品	・武蔵大学科学情報センター(1988年(協働作品、1989年 日本建築学会作品選集)) ・実験集合住宅NEXT21(1993年(協働作品、1996年 日本建築学会作品選奨受賞)) ・繁柱の家(1996年(1999年 日本建築学会作品選奨受賞)) ・軽井沢朗読館(2009年(2013年 軽井沢緑の景観優秀賞))



繁柱の家

### 編集後記

【お詫びと訂正】「TDU Agora」11月号の掲載記事誤りについて

2022年11月号6ページに掲載しました、「今月の俳句」におきまして、作者名に誤りがありました。WEB公開版にて訂正させていただきます。(右のQRコードからご覧いただけます)



# TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。